

神奈川東部方面線速達性向上計画変更の概要

相鉄・JR直通線は、本線にかかる用地の取得が難航したことや、安全対策設備の検討に時間を要したため、開業時期を平成31年度下期に、相鉄・東急直通線は、本線にかかる用地の取得が難航したことや、調査の結果、当初想定よりも地質が軟弱で補助工法が必要となったことなどにより開業時期を平成34年度下期に変更いたしました。

また、昨今の建設需要増大等を背景とした建設物価の高騰、土壤汚染対策法の変更をはじめとする法令等の改正、地質調査の結果を踏まえた工法変更等があり整備に要する費用を、約4,022億円に変更いたしました。

開業時期

- ◆ 相鉄・JR直通線
変更前：平成30年度内
変更後：平成31年度下期
- ◆ 相鉄・東急直通線
変更前：平成31年4月
変更後：平成34年度下期

建設費

変更前：約2,739億円
変更後：約4,022億円

都市鉄道利便増進事業

神奈川東部方面線

(相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線)

相鉄・JR直通線は、相鉄本線西谷駅から東海道貨物線横浜羽沢駅付近までの区間に連絡線を整備し、相鉄・東急直通線は、羽沢駅(仮称)から新横浜駅(仮称)を經由し、東急東横線日吉駅までの区間に連絡線を整備する路線です。

両路線の整備により、横浜市西部及び神奈川県央部と東京都心部の地域間の速達性が向上し、広域鉄道ネットワークの形成や新幹線アクセスの向上が図られるとともに、既設路線の混雑緩和や乗換え回数の減少、沿線地域の活性化等に寄与することが期待されます。

